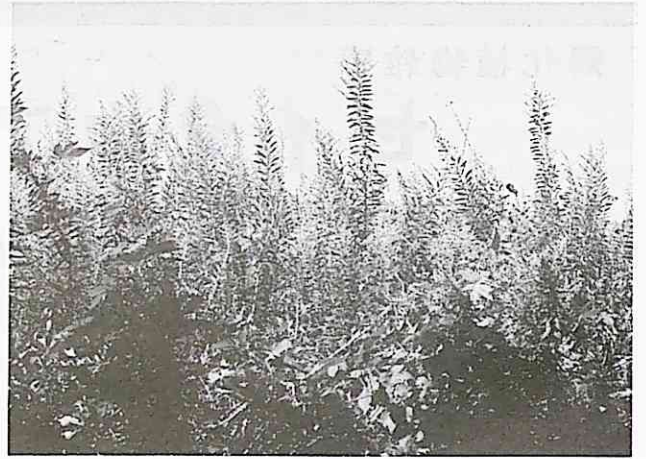


くて人間管理下にあるので、自然なままの遷移とはならないであろうが、河岸堤防・河川敷の帰化植物セイタカアワダチソウは次第に減少していくかもしれないが、流水域の帰化植物チクゴスズメノヒエは、ますます増殖して、流水を妨げ、土砂塵埃を停滞させる害草として問題となると思われる。
(1995. 12月記)



県内各地の河川沿いに繁茂するセイタカアワダチソウ
(阿賀野川沿い 1996. 9. 22)

古木情報3 サワグルミの巨木

地上 120cmで幹周 635cm (奈良場正一氏測定) で県内では巨木であろう。
川沿いから5mほど離れて斜面に生育し、樹勢良好である。

南魚沼郡湯沢町大島外ノ川 1140m [Aug. 7, 1996]

